

部 局 経 営 方 針

平成 2 0 年度

薩摩川内市

部局名	消 防 局	部局長名	上村 健一
-----	-------	------	-------

部局の 経営資源	当初予算	15.3億円		
	構成人員	職員	嘱託	計
		148人	1人	149人

部局の使命 (組織の存在価値)	<p>消防局の使命は、消防組織法第1条に規定されている「消防の任務」を使命とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 防災のプロ組織として常に危機管理意識を持ち、災害を未然に防止するとともに、一旦発生した場合は迅速・的確に対応し被害を軽減する。 消防団及び防災関係機関・団体と協働・連携し、防災意識の更なる啓発を行い、地域防災力の向上を図り災害発生を抑制する。 	組織目標像	<p>「誰もが安心して快適に暮らせるまちづくり」の着実な推進【施策の目標像】</p> <ol style="list-style-type: none"> 予防体制の充実強化（住宅防火対策の強化推進等） 消防体制の強化 （消防庁舎・施設等の整備，常備・消防団体制及び資機材の充実強化） 救急・救助体制の強化 （救急・救助活動等の高度化の推進及び救命率の向上） <p>【組織の目標像】</p> <ol style="list-style-type: none"> 親しまれ，信頼される消防 （市民に安全・安心を与える力強い消防の確立）
--------------------	--	-------	--

平成 2 0 年度の重点事項と目標達成に向けた主な取組内容

重点事項	具体的な成果目標（めざそう値）	具体的な取組内容	進捗状況（年度中間）	年度末の達成状況
1 市民との協働・連携による地域の防災活動能力の向上	<ol style="list-style-type: none"> 自主防災組織の訓練実施率 25% 消防団サポーターへの登録 96人 (各分団3人×32分団) 	<ol style="list-style-type: none"> 自主防災組織に対する教育研修(各種訓練を含む)の実施及び自主防災力の向上 消防団OB等を活用した災害現場応援部隊の構築 	<ol style="list-style-type: none"> 自主防災組織訓練実施率 19% (30回, 1,026人) 325団体中64団体実施 消防団サポーター登録者数 81人(32分団) 委嘱状の交付済 	
2 住宅防火対策の推進	<ol style="list-style-type: none"> 住宅用火災警報器の設置率 全世帯の40% 	<ol style="list-style-type: none"> 消防団及び自主防災組織と連携した住宅用火災警報器の早期設置の推進及び悪質訪問販売による被害の防止 火災による死者の低減に向けて，市民への防火・防災意識の一層の高揚 	<ol style="list-style-type: none"> 住宅用火災警報器の設置率 全世帯の25% (10,852世帯) 	

部 局 経 営 方 針

薩摩川内市

平成20年度

<p>3 救命率の向上</p>	<p>1 普通救命講習受講者数 2,500人/年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民によるCPR実施率 50%以上 ・119番通報時の口頭指導によるCPR実施率 90%以上 <p>CPR 心肺蘇生法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気道確保 ・人工呼吸 ・心臓マッサージ <p>2 軽症者搬送率 30%以内</p>	<p>1 「市民救命士」の養成に向けた普通救命講習の積極的な広報・実施</p> <p>2 “救える命を救うため”に、市民・救急隊・医療機関が連携した救急医療体制（救命の連鎖）の一層の充実</p> <p>3 効率的・効果的な救急車の適正利用の啓発・促進</p>	<p>1 普通救命講習受講者数 98回 1,986人 延べ人員 12,238人</p> <p>2 市民によるCPR実施率 14%（35件中5件）</p> <p>3 口頭指導によるCPR実施率 44%（25件中11件）</p> <p>4 軽症者搬送率 37%（1,667人中631人） 救急出場件数 1,753件 （対前年同期 130件） 心肺停止状態からの社会復帰率 13% （25人中2人） AEDの設置状況 171施設181基 患者等搬送事業所搬送件数 515件</p>	
<p>4 消防職員・団員の 人材育成</p>	<p>1 消防職員・団員の教育機関等への派遣研修 消防職員 37人 内訳 ・消防大学校 2 ・消防学校 23 ・救急救命士養成 1 ・その他 11 消防団員 23人 内訳 ・消防大学校 1 ・消防学校 22</p> <p>2 消防団員宿泊研修 （少年自然の家） 100人（2回）</p>	<p>1 更なる倫理の確立に向けて法令遵守等の職場内研修の実施</p> <p>2 各種研修の有効活用を図り、消防職員・団員の職務意欲を喚起し能力向上に向けた積極的な研修の推進</p> <p>3 消防団宿泊研修の更なる充実及び女性消防団の積極的な参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消防団の一体感の醸成 ・訓練礼式の向上 	<p>1 法令遵守等の職場内研修 18回（各課署で実施）</p> <p>2 消防職員・団員の派遣研修 ・消防職員 18人 ・消防団員 7人</p> <p>3 消防団員宿泊研修 46人（1回）</p> <p>4 甕島地域現地訓練 216人（1回） 女性消防団員31人を含む</p>	

部 局 経 営 方 針

平成20年度

薩摩川内市

年度中間総括	<ol style="list-style-type: none">1 自主防災組織への訓練及び住宅用火災警報器の早期設置に向けて積極的な啓発活動を実施し、地域の防災活動能力の向上と住宅防火対策の推進を図ったが、「大切な人を火災から護るため」に、各種訓練・行事等を活用して市民への防火・防災意識の一層の意識啓発を行い、その他火災の防止と特に住宅用火災警報器の早期設置を全職員一丸となり推進する。2 普通救命講習の受講者数の増（対前年度30%増）及びAED（自動対外式除細動器）の設置施設の増（68施設増）等、救命率の向上に向けて関係機関と一体となった救急医療体制（救命の連鎖）の充実を図ってきたが、「真に緊急を要する人のため」に救急車の適正利用について、医師会等の関係機関との連携を図り啓発を行い、救急搬送者の軽症者搬送率の低減を図る必要がある。3 親しまれ、信頼される消防の更なる構築を目指し法令遵守等の徹底を図り、派遣研修を通じた消防職員・団員の個々の能力の向上と併せて全職員・団員一体となった消防力の強化に向けて、各種訓練・研修を積極的に実施する。
年度末総括	